

※今後変更となる可能性あり。

事業概要

- 本事業では、国が主導する「沖縄交通リ・デザイン」の取り組みと連携し、県民等参加型のワークショップ等を実施する。
- 本県の地域公共交通計画を着実に推進していくためには、地域の事情やトレンド等を踏まえたうえで必要な対応を検討する必要がある。本事業により収集した県民目線のリアルな意見等については、当該計画や関連施策の随時必要に応じた見直しに役立てていきたい。

STEP.1 講習 & ワークショップ 1 回目

- ① 各圏域毎の地域公共交通に係る概要等を講習し、受講者に必要な情報（新たな公共交通システムに係る情報を含む。）をインプット
- ② 講習の後、各自の実生活を踏まえた問題・課題等について、受講者同士で自由な意見として発表・検討
- ③ 発表・検討した問題・課題等に対し、理想はどうあるべきか等について、相談・検討し、まとめる。

STEP.2 実証等

- ワークショップでまとめた理想の姿等を踏まえたうえで、実生活の中で積極的な公共交通利用等に取り組んでもらう。
- この際、公共交通を活用するインセンティブの検討が必要

STEP.3 ワークショップ 2 回目

- 受講者に再度集まってもらい、実証期間で感じたことを話し合い、1 回目と同様に問題・課題、理想の姿等について、再度検討し、まとめる。
- 実証前後における意見等の変化を確認し、地域の公共交通の奥深さを体感するとともに、よりリアルな意見等の抽出する。

- 現時点で想定する実施校は次のとおり。
【北部圏域】名桜大学、沖縄工業高等専門学校 他
【中部圏域】琉球大学、県立高等学校（1 校以上） 他
【南部圏域】沖縄大学、県立高等学校（1 校以上） 他
- 県立高校は、STEP1のみとなる場合もあり得る。

- 各校関係者と調整のうえ、当該WS参加者が地域住民等へヒアリング調査を行うなどのフィールドワーク等に対する支援（テーマ・設問設定等）も実施
- 当該WSの他、本島の県立高等学校及び交通弱者等へのアンケート・ヒアリング等も実施

